



# よこはま支部だより

第72号  
2020年冬



一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部

THE YOKOHAMA BRANCH KANAGAWA PREFECTURE  
SOCIETY OF ARCHITECTS & BUILDING ENGINEERS

P1:表紙	P5:日帰りバス研修旅行	P9:ワイン同好会便り
P2:新年のご挨拶(支部長) (賛助会会長)	P6:災害に強い街づくりを知る	P10:テニス同好会便り
P3:納涼会	P7:渋谷スクランブルスクエア	P11:横浜市建築局からのお知らせ
P4:日帰りバス研修旅行	P8:絵画同好会便り(デッサン)	P12:賛助会紹介・賀詞交換会 ・編集後記



## 年頭挨拶

(一社)神奈川県建築士会横浜支部 支部長 渡邊 一郎

明けましておめでとうございます。皆様にとって良い年になることを祈念申し上げます。

昨年は総会、研修会、講習会、会員交流会、同好会活動等々支部会員の手弁当による企画力、行動力には脱帽し感謝申し上げます。また昨年、後半関東地方を襲った大型台風による被災された支部会員にはお見舞いを申し上げると同時に復旧で建築士の存在が社会に大きく取り上げられ活躍された事に御礼申し上げます。

さて本年より試験制度が大きく変わり実務経験なしで受験可能となり、受験者数の大幅増加、それに伴う試験管理官、試験補助員の確保が本支部の大きな課題となります。新しい建築士を誕生させ仲間を増やす為にも皆様のご協力を賜りたいと存じます。

建築士会は各県共通の悩みは会員減少です。試験が難しくなり会員資格である建築士取得者の絶対数が減り、建築士会財政上の大きな収入源の会費が減ることは運営そのものに影響します。しかしながら営利の業界団体と異なり資格取得者の団体故、様々な職種の集りである本会の存在性は高く、建築設計士の方々の他、施工管理の方々、役所の方々、教育界の方々、そして建築とは全く異なる業種の方々に構成され、入会のメリットを問われれば、その交流により自身のスキルを磨くことだと思えます。メリットは自身で見つけることです。

今後社会が建築士に期待することは年々増えるでしょう。そのような環境下、横浜支部会員の皆様には建築士として襟を正し、業務に打ち込むことが重要です。設計や施工の現場において建築士の業務は終わりのないと言われたのは小生がまだ駆け出しの頃の事で、今は効率性を求められております。新しい若い世代の活躍の場を広げるためにご理解頂きたいと存じます。本年も支部会員の皆様のお力を借り、本会、本支部が発展することを祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。



## 年頭挨拶

(一社)神奈川県建築士会横浜支部 賛助会会長 星 雅巳

会員の皆様、明けましておめでとうございます。今年も賛助会のご指導ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。

さて、事実上令和初の新年です。昨年は、元号が変わりましたが、災害も多く大変な一年でした。世界的気候変動により、強風、豪雨等が毎年観測史上最大になっている現状で、今年はどうなるのでしょうか。耐火、耐震等は準備できておりますが、洪水、強風対策はと心配になります。災害対策、インフラ整備が喫緊の課題ですが構造的な職人不足も深刻です。地元横浜の街づくりに、是非会員皆様のお知恵を拝借したいと存じます。

また、国内では木質化が推奨されておりますが、官民共々木材の知識が推奨に追い付いていないのが現状です。木材業界の努力不足を痛感し、反省をしております。会員皆様には是非「木づかい」の浸透にご協力を賜りますよう、切にお願い致します。

神奈川県建築士会本会横浜支部の皆様のご発展を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。



## 『横浜支部納涼会』



初参加

菅股 篤

昨年 8 月 23 日に開催されました夏の納涼会に『会員増強・体験キャンペーン参加費 2,000 円』という謳い文句に釣られ初めて参加させて頂きました。急遽参加させて頂いたにも関わらず温かく迎えてくださり有難う御座いました。

一級建築士を取得した後、なかなか建築士会への入会の機会が得られずにおりました。今回の納涼会でもまずは見学というつもりで参加させて頂きましたが、皆さんのお話をお聞きする中で、行政関係の方々も含めた他業種との関わりや青年を中心としたイベントに魅力を感じました。

そして食事とお酒を楽しみながら支部長とお話しているうちにいつの間にか入会申込書とボールペンが目の前に。その先はご想像の通り即入会、今に至ります。2 時間の納涼会は本当にあっという間で最後まで楽しい時間

を過ごさせて頂きました。また、納涼会を通じて横浜支部の雰囲気を感じる良い機会となりました。これからは建築士としての技術・知識の研鑽はもちろん、青年世代のつながりを多くつくっていきたいと思っております。入会から日が浅く右も左もわからない若輩者ではありますが、皆さまどうぞ宜しくお願い致します。



初参加

永田 朋大

午前中から降る雨も止み、蒸し暑さは残っているものの空に虹がかかる桜木町のアニヴェルセルカフェみなとみらいで行われた、横浜支部の夏の納涼会に参加しました。

渡辺支部長の挨拶のあとに乾杯が行われ、おいしい料理、お酒を飲みながら楽しい時間を過ごせました。

今回は新規会員も数人参加しており、新規会員の方々とも交流することができ今後の建築士会での委員会への勧誘をし、興味を持って頂き新しい仲間が増えたことをうれしく思い、実りのある会になりました。

終盤になると外も暗くなり、ランドマーク

タワーやコスモワールドの観覧車のネオンを眺めながらお酒もすすみ、日々の暑さと多忙の仕事を忘れるくらい楽しい時間でした。



支部 総務・厚生委員会 合同企画



## 日帰りバス研修旅行



## 『オリンピック施設・明治神宮ミュージアム』



鈴木由紀子

11月15日(金)1日でオリンピック施設と美術館の11カ所を巡る盛沢山の研修でした。有明アリーナ、有明体操競技場、東京アクアティクスセンターの外観の形の印象が似ていました。東京辰巳国際水泳場はシドニーのオペラハウスを思い出す外観でした。豊洲市場の内装は予算の関係からか、とてもシンプルでした。日本青年館ホテルのスイートルームから新国立競技場を見ました。手前の建物がちょっとかぶっていたせいか、神宮球場方面の都心方面ばかり見ていました。ホテルで昼食後、オリンピックミュージアム、新国立競技場、東京体育館は徒歩移動。この辺になると、観光客が増えてきました。明治神宮ミュージアムでは隈研吾建築都市設計事務所担当者と館長の方からご説明を頂き、見学の参考になりました。日も傾きかけた頃の外観は内部の暖かい明かりが神宮の森にこぼれていました。



国立代代木競技場 第一体育館は外観の

美しさ、内観の気持ちよさは格別でした。夕暮れ時に美しいシルエットはため息が出ました。内部見学ではハプニングがありました。無事見学することができて、良かったです。戦後19年でこれだけの建物ができた時代のすごさに感動です。



役員の方が3度も下見してくださったおかげで、これほど盛沢山なのに、ほぼスケジュール通りに進行することができました。見学ルート、写真スポット、徒歩ルートを考えて下さり、ありがとうございました。とても充実した一日でした。





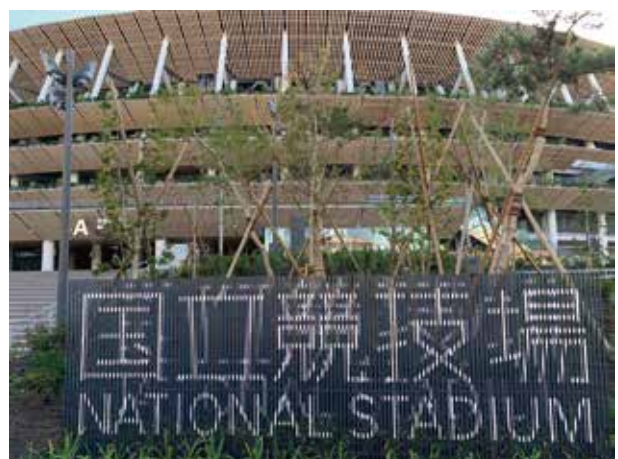
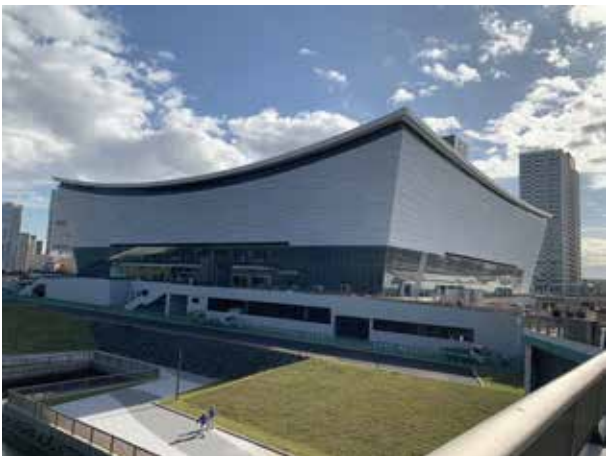
## ✍️ 小野綾子

私事だが、明治神宮へ毎年元旦に初詣に行っている。深夜3時半頃の比較的空いている時間にお参りするのだが、都心の深い杜である明治神宮は、大勢の人で賑わう表側のすぐ裏は深い漆黒に包まれており、初詣の賑わいの中でもどこか気持ちをキュッと引き締めしてくれる何かがある。年初にそれが気持ちよく、ここ10年程の習慣となっている。

その杜の中に鎮座百年を記念して今年10月に「明治神宮ミュージアム」が開館し、設計を担当された隈研吾建築都市設計事務所の名城さんから説明を聞く機会に恵まれた。テーマは「杜」、できるだけ庇を低く、薄くして、軽さと繊細さに気を配り杜に溶け込ませた。風致地区に指定されているとのことで高さ制限が厳しい中、2階展示室の天井は、外観の入母屋屋根の勾配に沿わせた弧を描き空間を広くすると共に、格天井をイメージしたスリットデザインが広がる。RC、S造の上に、人が触れる

内部は木が貼られ、室内の鉄骨梁あらかわし面には木造建築の胡粉を連想させる白い塗装が施されていた。神社へのオマージュは外観にも現れ、壁の凹凸寸法は玉垣と呼応するリズム感を持たせている。

この建物を計画するに至ったお話を、館長の黒田さんから聞くことが出来た。明治神宮では杜の神秘性とその貴重さを実感し、それを守ると共に、日本美術の特徴として美が細部に宿るをテーマとされた。展示品は近くで見られるように工夫され、国内外の多くの人を惹き付けていた。





## 『災害に強い街づくりを知る』講演会

講師：北村春幸氏（東京理科大学工学部教授・同大学副学長）



講座では1980年代から採用されはじめた『免震・制震構造』と、東日本大震災で話題となりました『長周期震動』の対策について学びました。

熱心に講義に聞き入る参加者の皆さまの姿がとても印象的な講義となりました。



令和元年11月29日(金)18:00より神奈川県建設会館2階講堂に於いて東京理科大学副学長 北村春幸様をお迎えして『災害に強い街づくりを知る』の【第2回講座 免震構造】が開催されました。

当講座は計3回にわたり開催され、前回の第1回講座は『超耐震建築』、そして今回は第2回目の講座となります。

冒頭、横浜市建築局公共建築部長 鶴沢 聡明 様から御挨拶を頂戴し、続いて一般社団法人神奈川県建築士会横浜支部 渡邊支部長から講師の北村先生へ御礼の御挨拶がありました。





## 渋谷スクランブルスクエア

11月1日の開業前に見学をさせていただきました。

2019/10/28

名称:渋谷スクランブルスクエア(東急)  
所在地:東京都渋谷区2丁目24番12号  
敷地面積:15,275.55㎡  
延床面積:約181,000㎡  
店舗面積:25,000㎡

建物構造:地上47階、地下7階  
高さ:229.706m  
店舗数:212店舗  
用途:物販店舗、飲食店舗、事務所  
駅施設、駐車場



### 松本慎吾

14階のチケットカウンタから期待感を高揚させるような空間経路でエレベーターへ乗りエスカレーターで屋上展望空間へ進むと、そこは、高さ230mに突如現れた「原っぱ」のような場所だった。

そこには都会の中にながら遮る建物はなく、360°のパノラマビューの景色がまるで自然の中にいるように感じられた。

所々にハンモックに揺られている人たちも居て居心地がよく、つい長居してしまっただ。

47階の屋内展望回廊では、雨天でも360°の景色をたのしめる場で、屋上展望空間との空間の親和性も高く、ここも居心地が良かった。

渋谷の再開発は、2012年4月の渋谷ヒカリエに始まり、渋谷ストリーム、渋谷ブリッジに続き、今回の渋谷スクランブルスクエアの完成は、これまで246号線で遮られていた南北の人のながれを結ぶような新たな渋谷の導線を誘発することが期待されている。

私もまたひとつ渋谷へ行く楽しみが増えた。



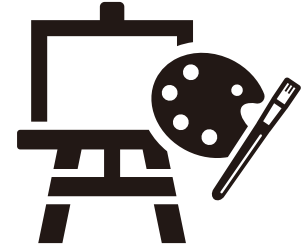
# 絵画同好会便り

## 『デッサン会』

かながわ労働プラザにて、裸婦デッサン会を開催



2019年12月1日(日)



デッサン風景(手前が裸婦モデルです)



▲田中 克樹 会員の作品



▲高橋 伸廣 会員の作品



▲菊地 紀代子 会員の作品



▲今井 淳子 会員の作品



▲石田 明代 会員の作品



▲芹澤 ひと美 会員の作品





## ワイン同好会便り

2019年11月1日

初参加

守屋浩

初めてのワイン同好会。アットホームな雰囲気に入れ、楽しいひと時を過ごすことができました。

個性あふれる皆様方と名刺交換、会話が出来ました。感謝御礼申し上げます。「人生死ぬ直前まで、何が起こるか分からない。」感動の一言を拝聴しました。

アルジェのジェミラ遺跡博物館で、紀元元年頃の修復モザイク壁画バッカスに直面し、感動したばかりです。ワインの神様が、この会へ導いてくれた!



ワイン大国ブルガリアのソフィア出身の美人奥様、年間150本のワインとご家族、徳島の先祖と文字の読み方、日本酒、会社と家族等々面白く拝聴しました。以前お世話になった方々にも、お目にかかれました。

今回は6種類のワインを楽しみました。フランスのブルゴニュー、ボルドーとイタリアピエモンテのバルバレスコ村産。皆旨かったですが、特にボルドーの赤と白が好評価でした。

私は、建築士会にワイン会があると聞き、今年の6月再入会しました。皆様の含蓄とにじみ出る一味、たまらなく旨かった。



ワインは人と人をつなぐ道具。ワイン会の皆さま、今後ともよろしくお願い申し上げます。

建築士試験受験条件の実務期間2年がなくなるそうです。

激しい社会変化に対応する建築士会、さらなるご活躍を!





# テニス同好会便り



定例会報告 場所:金沢産業振興センターテニスコート

7月13日(土) 参加者10名  
中間ぐらいから雨が降って  
きましたが皆さんやる  
気満々で、何とか4時間  
の定例会は楽しく行うこ  
とができました。



7月27日(土) 参加者6名  
台風が接近していましたが、  
定例会は無事行う事が  
できました。  
風が強めでしたが、気温  
30度超えでとても暑かつ  
たです。



8月10日(土) 参加者8名  
台風10号接近中の週末  
でしたが、関東地方はと  
ても言い天気、猛暑の中  
での定例会でした。  
皆さん熱中症にならない  
様、日影で休憩、水分補給  
を取りながらプレーを楽  
しみました。



8月24日(土) 参加者6名



9月14日(土) 参加者8名



9月28日(土) 参加者7名  
天気も良くテニス日和  
でした。久しぶりの会員も  
参加でとても盛り上がり  
ました。



10月5日(土) 参加者8名  
10月とは思えない30度  
越えの気温でとても暑い  
定例会でしたが、会長が  
久しぶりの参加、新人さん  
も参加で楽しい定例会と  
なりました。



10月26日(土) 参加者8名  
薄曇りの天候でテニスに  
はちょうど良い気候で  
したが、2面でしたので  
参加人数が心配でした。  
休憩なしでたっぷりゲー

ムをして、あっという間の  
定例会でした。



11月2日(土) 参加者7名  
秋晴れでとても気持ちの  
良いテニスには最高の気  
候となりました。  
前半1面、後半2面では  
したが、参加者7名では  
ので、1面でダブルスゲー  
ム。  
もう1面は2対1のゲー  
ムや練習を行いました。



## テニス同好会 会員募集中!

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。特に女性大歓迎!お気軽に連絡ください。  
定例会は原則第2・4土曜日を予定していますが、予約状況により異なりますので  
お問い合わせください。ご連絡の際はメールの場合でもお名前、連絡先の記入をお願いします。  
連絡先:玉野 TEL:045-894-8452 FAX:045-893-6614 n.tamano@architect-tamano.jp



横浜市 建築局からのお知らせ

令和2年4月以降、新市庁舎に順次移転します

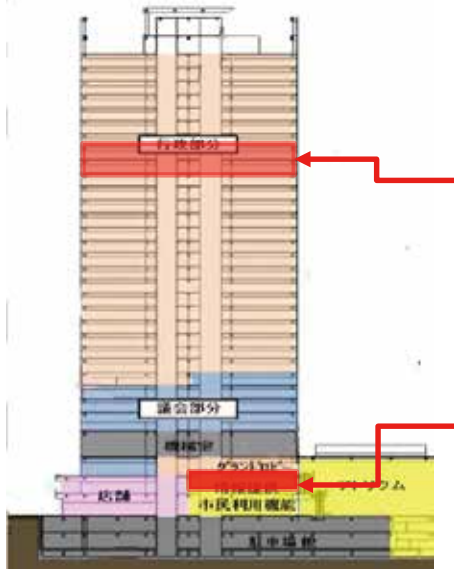
建築局は、令和2年6月15日及び22日から、新市庁舎で業務を開始します。



現在、情報相談課の窓口で行っている「建築計画概要書の閲覧、諸証明発行」及び「建築・宅地に関する一般相談」については、6月15日(月)から、新市庁舎2階に設置する「よこはま建築情報センター」にて業務を行います。

また、「よこはま建築情報センター」には、道路台帳システム、下水道台帳システム、水道台帳システムを設置し、利便性の向上を図ります。(各システムの移転日は異なるため詳細は横浜市HPにてご確認ください。)

移転先	部署	業務開始日
25階	建築指導部 宅地審査部 都市計画課	6/15(月)
	建築防災課	6/22(月)
24階	総務課 建築監察部	6/15(月)
	企画課 公共建築部 住宅部	6/22(月)
2階	<b>よこはま建築情報センター</b> 建築計画概要書等の閲覧、諸証明発行、建築・宅地に関する一般相談 道路台帳、下水道台帳、水道台帳、iマップ	6/15(月)



《新市庁舎の住所》  
〒231-0005  
横浜市中区本町6丁目50番地の10

《お問い合わせ》 横浜市建築局情報相談課 TEL:045-671-4503 FAX:045-681-2436  
e-mail: [kc-johosodan@city.yokohama.jp](mailto:kc-johosodan@city.yokohama.jp)  
横浜市移転関連ウェブサイト : <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/shinshichosha>



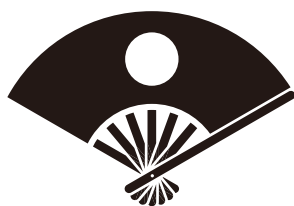
## 賛助会員のご紹介

株式会社 星  
株式会社 渡辺組  
株式会社 カンディハウス横浜  
東京ガス 株式会社

不二物産 株式会社  
株式会社 ヒライデ  
横浜エレベータ 株式会社  
株式会社 キクシマ



## 令和2年賀詞交歓会のご案内



JR京浜東北線根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町駅」下車 徒歩10分  
みなとみらい線「馬車道駅」下車 徒歩3分



日時： 令和2年1月28日(火) 18:00より

会場： ナビオス横浜CANALカナル  
横浜市中区新港二丁目1-1  
☎045-633-6000

会費： 正会員・準会員(個人負担) 4,000円  
賛助会員・特別会員 5,000円  
※当日会場にてお支払いください

### お問い合わせ・お申込み先

(一社)神奈川県建築士会 事務局  
TEL:045-201-1284 FAX:045-201-0784  
E-MAIL:info@kanagawa-kentikusikai.com

申込み締切: 令和2年1月21日(火)まで

### 【編集後記】

本号より広報委員に加わりました菅股です。青年世代として本委員会も盛り上げていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。今年は2013年の開催地決定から7年、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。開催に先立ち国立競技場の建設問題等、良くも悪くも建築業界に関心が集まりました。1964年開催の高度経済成長期から時代も大きく変化し「量から質へ」といわれて久しいですが、技術革新が進むいま、建築に対する新たな価値観が求められているように思います。開催に向けて高揚感が高まる中、これを契機に我々建築士は今一度気を引き締めると共に先の反省を踏まえた活動をしていかなければならないと感じます。

### 【広報委員】

白井崇雄・落合 博・玉野直美・丸山幸一  
雨森隆子・畠 宏好・太田真理子・遠堀太陽  
松本慎吾・菅股 篤

### 【発行】

一般社団法人 神奈川県建築士会 横浜支部事務局  
〒231-0011 横浜市中区太田町2-22  
神奈川県建設会館 5階  
Phone:045-201-1284  
Fax.:045-201-0784  
<http://www.kanagawa-kentikusikai.com/sibu/yokohama/>